

女性への暴力防止セミナー

身近な人が性暴力にあったら

被害者のサポートとして私たちにできること

「友人/知人が性暴力の被害をうけ、どうしたらいいかと相談があったのだけど、何から始めてどういうサポートをしたらいいの?」という声に答えての、5回連続講座(2008/11/1、11/15、12/13、2009/1/17、2/14)です。

毎日のニュースでDV、ストーカー、レイプ等の性暴力の被害が報じられていますが、どこか他人事ひとごとのようにとらえがち。性暴力は人間の尊厳を破壊する“魂の殺人”です。被害にあった人が一番ほしいのは「周囲の理解」と訴えています。2007年夏にカナダで行なわれた性暴力被害者支援セミナーに参加した「バンクーバー2007」の協力を得て開催します。

第1回 公開講座

11月1日(土)

14:00~16:30

身近な人が性暴力にあったら

講師 中島幸子さん (NPO法人レジリエンス代表)



第2回

11月15日(土)

14:00~16:30

医療機関の役割を知る

第3回

12月13日(土)

14:00~16:30

相談窓口や警察の役割を知る

第4回

1月17日(土)

14:00~16:30

シェルターなど保護施設の役割を知る

第5回

2月14日(土)

14:00~16:30

地域で安心して安全に暮らすために
私たちにできること

ところ 大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」(JR 京浜東北線 大森駅より徒歩8分)

対象 テーマに関心のある女性30人(第1回公開講座は60人) 事前申込み受付順

保育 1歳以上未就学児15名までお預かりします(保育料一人1回500円)

申込方法 FAX、メールでお申込みください(詳細は裏面)

主催 大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」 共催 大田区 / 女のサポートライン

この事業はNPO 法人男女共同参画おおたが区の補助を受けて実施しています。

2008/11/1	身近な人が性暴力にあったら	被害者としての立場から、被害者の心理などについて
2008/11/15	医療機関の役割を知る	医師、看護師、助産師などから聞く医療機関の対応
2008/12/13	相談窓口や警察の役割を知る	女性相談員、警察関係者から聞く相談窓口や警察の対応
2009/1/17	シェルターなど保護施設の役割を知る	保護施設関係者から聞く相談後の生活や保護について
2009/2/14	地域で安心して安全に暮らすために私たちにできること	大田区の相談関係者から聞く現状と地域ネットワークづくり

毎回土曜日 14:00～16:30

- 参加費 無料
- 会場
大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」
(JR京浜東北線 大森駅より徒歩8分)
大田区大森北4-16-4 (TEL 03-3766-4586)
- 定員・対象
全回女性限定30人(第1回の公開講座は60人)
事前申込み受付順
- 保育付き
1歳以上未就学児の子ども15名を
講座中ひとり1回500円でお預かりします。
- 申込方法
E-Mail、FAXに、
①「女性への暴力防止セミナー」 ②住所 ③名前(ふりがな)
④年齢 ⑤電話番号 ⑥保育希望の場合:子どもの名前(ふりがな)、年齢(月齢)、
FAX番号またはPCメールアドレス(保育カード送付のため)を記入して、お申込みください。
*個人情報適切に管理し、今後の講座等に使用させていただきます。目的以外では使用いたしません。
- 締切 2008年10月20日(月) 必着

第1回公開講座

講師 中島幸子さん プロフィール

NPO法人レジリエンス代表、DVコンサルタント、ソーシャルワーカー。

DVの被害にあった経験がきっかけとなり勉強を始め、1991年に米国で法学博士号取得。2003年にソーシャルワーク学修士号を取得。1997年からDVについての講演会活動を始める。2003年、「レジリエンス」を結成。杏林大学非常勤講師。

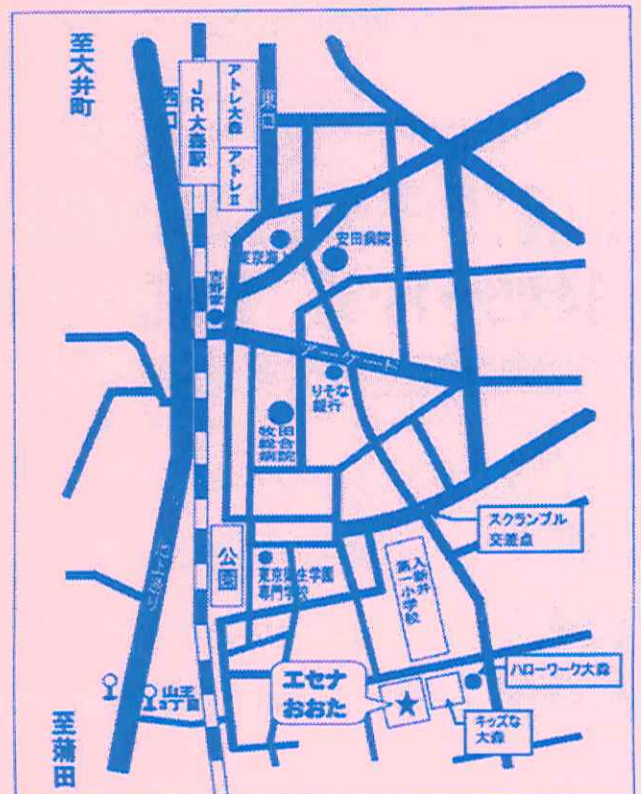
著書「傷ついたあなたへ」レジリエンス著、「大切な人を亡くした子どもたちを支える35の方法」ダギーセンター著・レジリエンス訳、他。

ケータイから
申し込み可能!



- 主催・問合せ先・申込先
大田区立男女平等推進センター
「エセナおおた」
〒143-0016 大田区大森北4-16-4
TEL: 03-3766-4586 FAX: 03-5764-0604
E-Mail: escena@escenaota.jp

- 共催 大田区
- 企画団体 女のサポートライン (fax:03-3761-8151)
協力 バンクーバー2007



JR京浜東北線 大森駅より徒歩8分
駐車場はありません。